

市民の皆様へのお見舞いと激励

この度の岩手・宮城内陸地震により被災された市民の皆様には心からお見舞い申し上げます。

マグニチュード 7.2 という平成 7 年の阪神・淡路大震災並みの大地震が、郷土奥州の地に突如降りかかりました。

死者や重軽傷者が発生し、住宅は危険な状態となり、宅地に亀裂が生じ、水道が断水となりました。

道路は各地で寸断され、公民館の天井が落ちるなど、公共施設も使用不能となりました。

避難所には、自宅の内部が散乱し、玄関の戸も閉められなくなった家の人や、裏山に亀裂が生じて、土砂崩落の危険のある人などが集まりました。

市と致しましても、直ちに災害対策本部を立ち上げ、人命の救助や財産の保全を優先して、対策に当たるとともに、避難された人たちの生活の安定、断水の解消などに日夜努めたところです。

こうした中、全国からの緊急消防応援隊や自衛隊の皆様の方の強い支援を頂きました。

水道の断水は解消し、道路や水路の復旧も徐々に進んでいます。避難せざるを得ない人たちの仮設住宅の手配も具体化しています。

今後、急傾斜地などの危険個所の恒久対策に努めてまいります。

子どもさんを含む心理的ストレスを受けられた方々の心のケアなどの対策も積極的に行なってまいります。

一日も早い震災復興を成し遂げ、これまで以上の住み良い地域づくりを進める決意で取り組んでまいりますので、市民の皆様には、明るく、希望をもって、お暮らし願いたいと存じます。

平成 20 年 7 月 10 日

奥州市長 相原正明

がんばろう奥州市 心 1 つに早期復興

～衣川区激甚指定に～

復興に向け
市民一丸

衣川区が局地激甚災害指定に

政府は 7 月 4 日の閣議で、今回の地震で被害が大きかった衣川区を「局地激甚災害指定」とすることを決定しました。対象は河川や道路などの公共土木施設と農業施設です。指定されることで、災害復旧事業の国庫補助率がアップします。市は、国の支援を受けながら、よりスムーズに復旧に取り組むとともに、衣川区だけでなく、胆沢区でもこの制度が適用されるよう働き掛けていきます。

早期完全復興に向けて
市の取り組み

皆さんの協力を得ながら、水道などの最低限の応急復旧はその作業を終え一段落しました。現在は崩れた土砂の撤去や陥没

地震で住宅に被害があった皆さんへ

【住宅相談所の開設】

- 7 月 15 日午前 10 時～午後 4 時、
衣川総合支所
- 7 月 16 日午前 10 時～午後 4 時、
胆沢愛宕農業者トレーニングセンター
- 問い合わせ
胆沢総合支所地域整備課（内線 250～254）
衣川総合支所地域整備課（内線 213～215）

【住宅相談員の派遣】

- 問い合わせ
・けんみん住宅プラザ（☎ 019-652-7744）
・けんみん住宅プラザみずさわ（☎ 3835）
・本庁建築住宅課（内線 540～545）
・胆沢総合支所地域整備課（内線 250～254）
・衣川総合支所地域整備課（内線 213～215）

※り災証明書の発行などの手続きは先月発行の「広報おうしゅう 6 月お知らせ版」をご覧ください

した道路などの復旧作業を急ピッチで行っています。また、土砂崩れなどの危険性から自主避難している人のための仮設住宅の建設手続きも進めています。このほか市は、被災により精神的にショックを受けた子どもたちなどのために、専門の医師や看護師らによる心と体のケアや、住宅や生活支援についての相談窓口を設けるなどし、皆さんと心を 1 つにして復興に向けて取り組んでいます。

この地震を教訓に市民みんなに
防災に対する意識を高めてもらいたい



奥州市連合消防団
団長 佐々木金男さん
Sasaki Kaneo

● Interview

わたしたち消防団は、皆さんの生命と財産を守るため、日ごろから訓練を重ね、火事・水害・地震などに即座に対応できるよう準備をしています。

しかし、一般家庭で日ごろから災害について話し合い、訓練をしているところはほとんどないのではないのでしょうか。今回、この地を大きな地震が襲いましたが、地震直後の防災意識が高い今だからこそ、家族や地域で災害対応について話し合ってみてはいかがでしょうか。

地震が発生したときの基本的な行動をお知らせします。
① 落下物から身を守る（机の下などに隠れる）
② 火気を使用している場合、

すぐに火の始末をする（地震の場合、火災は非常に大きな被害をもたらします）
③ テレビやラジオで情報収集をする
④ 必要があれば避難する（事前に非常用持出品や避難場所の確認しておくこと）
⑤ 自分や家族にけががなく、周りを助ける余裕があれば、災害救助に協力する

だれもが分かっている簡単なことですが、いざというときはなかなかできないもの。有事の際にきちんと行動できるよう日ごろからの意識付けが大切です。自分を、そして大切な家族を守るため、もう 1 度防災について考えてみましょう。